



野垣あきこと まちづくりカフェ

HP はコチラ



2026年9月23日 No.263

連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ！

まちづくりに住民の声を

下井草まちづくりラボ 商店街の意見も聞き将来像を考える



▲グループワークでもたくさんの意見
やアイデアが出されました！

9月19日、杉並区は、まちづくりに関する対話の場「第12回下井草まちづくりラボ」を開催し、私も参加してきました。

「駅周辺の商業とにぎわいについて」をテーマに考える

初めに、駅北側の「井草北商店会」と南側の「下井草商店街振興組合」の方に向けてファシリテーターがインタビューし、商店街や地域の変化、下井草の魅力、将来への想いなどを聞きました。

商店街からは、生鮮や飲食店が減り、塾や病院が増えていること、商店主の高齢化などの悩みがある一方で、イベント開催やSNSでの発信、物を売るだけでなく人とのつながりを大事にしていることなどが語られました。

区は、駅周辺の30年前と今の店舗の移り変わりや、人口の増加と年齢層の変化などのデータも

私も、まちづくりにぎわいを考える上で、商店街の意見や協力是不可欠だと思っていたため、とても良い機会だと思いました。

グループワークでは、にぎわいの将来像を出し合いました。

私の班では、歩きやすさ、にぎわいを支えるインフラ（駐輪場や西武線の地下化）、程良い密度の商店街、人とのふれあい、個人店を増やすなど、たくさんの意見やアイデアが出されました。

他の班では、発表ができるまち、家がお店の延長になる場所（民家の1階でお店）などのユニークなアイデアもありました。

参加者からは、グループワークの時間を増やすべきで議論にまで至らない、という時間配分への意見も寄せられました。

資料として配布しました。

参加者からは、チェーン店は商店街に協力してくれるのか、商店街のめざす将来像など、次々に質問が出されました。旧早稲田通りが通りにくいことは、商店街も住民も共通の課題でした。

まちを一緒に作っていききたい

最後に、商店街の方からは、次の商店街の集まりで今日のことを伝えたい、参加して勉強になった、まちを一緒に作っていききたいとコメントがありました。

女性や若者の参加が増える

ラボには地域の小中学生も参加しています。この取り組みが始まった4年程前と比べ、女性や若者の参加が増えて、多様な意見が出されるようになったのは前進だと感じました。

今回は10月24日(土)、今日描いたまちの将来像を実現するため、参加者が主体となることができることを考えます。

また、西武新宿線の連続立体交差化は地下化に、の住民の声を届けるために頑張ります。

前回の第11回(6月20日)は、区議補欠選挙の直前だったために、私は参加できませんでした。

区HPにはこれまでの経過や資料も掲載されており、ラボの参加者有志で結成された「サブラボ下井草未来創造チーム」から、「旧早稲田通りの安全化」をテーマに継続的に取り組んできた調査・分析の成果も入っています。右からご覧ください。



党区議団の一般質問 高齢者が安心して暮らせる杉並へ

第3回杉並区議会定例会が開催中です。14日の本会議の一般質問で、党区議団は高齢者施策の強化・拡充を求めました。

高齢者の経済的困難は健康・孤立にも影響します

物価高騰や年金の実質的な目減り、医療・介護の負担増など、高齢者の暮らしは厳しさを増しています。党区議団のアンケートにも「年金が少なく、80代でも家賃と生活のために働かなくてはならない」「1日2食も厳しい」「一人で老後を生き抜けるか不安」など、切実な声が寄せられています。

低所得高齢者へ家賃助成を

物価や家賃の高騰で、低所得高齢者の民間賃貸住宅の家賃負担は深刻です。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、家賃助成など直接的な負担軽減を求めました。

区も、「住宅費負担が家計を圧迫している状況は重要な課題」と認め、「セーフティーネット住宅の拡充とともに、他自治体の取組などを踏まえ、低所得高齢者に対する支援の在り方を検討していく」と答弁しました。

身寄りがなく方への総合的な支援を

独居の高齢者の孤立を防ぐため、行政の側からつながる支援や、身近な地域で交流・相談できる居場所の拡充を要望。さらに、身寄りのない高齢者への入院・入所支援、成年後見、緊急時対応、死後事務などを含む総合的な支援を求めました。

区は、「早急に対応すべき課題」とし、社会福祉協議会など

とともに検討し、2027年度に可能なものから実施する考えを示しました。

認知症でも自分らしく

認知症施策では、認知症になつた後も、本人の意思と尊厳が守られることを基本に据えるべきと主張しました。

区は、「本人の声の発信と意思決定支援」を重要な施策の柱の一つとする考えを示しました。

この他、家族介護者の休息支援、介護人材への支援拡充、介護保険料の負担軽減も求めました。誰もが住み慣れた杉並で安心して老いを迎えられるよう、引き続き取り組みます。

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

毎週 水曜・金曜
14時～16時

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12
電話 03-3314-5551
(予約不要、先着順に受付)



あきこの部屋

しい9月で、雨が降らなければ最高の初秋です。親戚が岡山県からぶどうを送ってくれました。農家の苦勞に感謝し、大切に味わって食べたいと思います。

お盆もシルバーウィークも雨の日が多かったからか、また野菜の価格が高騰しています。きゅうりは1本90円もするのに悲しくなるくらい細くて、見ていると正直凹みます。今はなすも旬なのに、値段を気にしてしまつのは私だけでしょうか。夕飯の献立は食べたい物に合わせて材料を買うより、その日に安く買ったもので作れるものから考えるようにしています。しかし、例年よりはだいぶ涼